

2011年4月3日

## プロジェクト報告書

団体名 CAPS (キャップス)

### 1. プロジェクト名

パソコン技術支援の設備環境の充実

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

現在の社会では、IT化の進展にともない障害者でもパソコン技術を習得していなければ、就労に大きなハンディとなり、障害者の多くはパソコン技術を身につけたいと思う人が増えております。CAPS (以下キャップスと言います) では障害者の就労支援の一助として仕事に生かせるパソコン技術指導にも力を入れて行きたいと考えています。

キャップス所有のパソコンの中で設立当初に寄贈して頂いたパソコンは、OSがWindows98をベースとした古いパソコンで、教材として使う新しいアプリケーションソフト入れてもスムーズに動作しないパソコンが多く、新しいパソコンを増やし、設備面での充実を図ってゆきます。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

#### プロジェクトの手順

現有パソコンの機能向上 (メモリ増設、OSの入れ直し) →機能向上ができないパソコンの新旧入れ替え→パソコン検定指導などに使うパソコンの専用化。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果

今回のプロジェクトにおいて、キャップス所有のパソコンの機能や動作環境を調査し、一部パソコンの一部は機能アップするとともに、今回頂いた助成金でパソコンを1台購入し、本格的なパソコン技術を支援する為の設備面での向上を図ることができました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想等

2010年11月30日、12月1日の2日間、パソコン利用者の作品展他キャップスの活動内容を紹介した「CAPS フェスタ」を開催しました。その中で障害者等の就労支援を目的としたパソコンの技術支援をして行くことを含め、キャップスの活動内容をアピールしました。又「CAPS フェスタ」開催中に読売新聞社からの取材を受け、12月2日の新聞に掲載して頂きました。

今回のプロジェクトにより、助成金を活用させて頂き、パソコンの新規購入と所有しているパソコンの機能向上で設備面での環境が整いました。今後の課題としては障害を持っている人が就労に役立つパソコン技術を指導できるボランティア会員を募るとともに、現ボランティア会員のスキルアップにも取り組んで行きます。

### 6. 参考資料

パソコン購入領収書、助成金活用パソコン写真及びパソコン指導風景写真  
マスコミ記事コピー、CAPSパンフレット

## 助成金で購入したパソコン



## 活動風景

